

科目名称	成人老年看護実習Ⅰ	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前・前期		100
担当教員	香川暁美 川崎由希 村上あゆみ 佐伯香織 田中美恵子	授業に関わる 実務経験	■ 有 (看護師) □ 無	

【1】概要

基礎看護実習を基盤とし、成人・老年期の特徴を踏まえて健康障害のある対象を理解し、対象に応じた看護を学ぶ患者とその家族とのよりよい人間関係を築き、対象に応じた適切な援助ができる能力を習得する。

【2】学習目標

1. 対象および対象をとりまく環境について理解できる。
2. 対象がどのような健康障害をきたしているか理解できる。
3. 対象に必要な日常生活援助を、個性を考慮して安全・安楽に実施できる。
4. 対象におこなわれている治療・処置に関連する必要な援助について理解できる。
5. 保健・医療・福祉チームにおける看護職の役割を理解し、基本的な態度を身につけることができる。

【3】ディプロマポリシーとの関連性

Ⅰ. 人に関心を持ち多様な人間を理解する力

- 1. 人間を生活者として捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し、多様な価値観をもつ人間を理解することができる。

Ⅱ. 看護を実践する力

- 1. 対象の健康状態の変化に気づくことができる。
- 2. 安全に科学的根拠に基づいた看護援助を実践できる。
- 3. 様々な場で生活する人々を支援するための援助を考えることができる。

Ⅲ. 人間関係を構築する力

- 1. 対象とより良い人間関係を築くことができる。
- 2. 多職種と連携・協働するための人間関係を築くことができる。

Ⅳ. 主体的に学び続ける力

- 1. 自己の資質向上のために学び続ける必要性を理解している。
- 2. 自己の看護観をもちキャリアデザインを描くことができる。

【4】授業計画

	内 容	授業形態
実習前	1. 成人・老年看護学実習Ⅰの実習概要についてオリエンテーションを受ける。 2. 実習に必要な事前学習を行う。	学内オリエンテーション 校内実習
実習1 週目	1. 病院・病棟オリエンテーションを受け、病棟の特殊性や受け持ち患者の生活の場を理解する。 2. 受け持ち患者の全体像を把握する。 3. 受け持ち患者の個性をとらえたアセスメントをする。 4. 受け持ち患者の日常生活の援助を実施する。	実習 学内実習
実習2 週目	1. アセスメントの修正を行う。 2. 援助の方向性に基づき優先順位を考慮しながら援助を実施する。 3. 医療チームとの連携やチームのなかでの看護師の役割について学ぶ。 4. 未経験の学習内容や不足している学習内容を自主的に実施する。 5. カンファレンスに積極的に参加し、主体的に運営する。 6. 学びをまとめ、自己の課題を明確にする。	実習 学内実習

【5】評価方法

成人老年看護実習の評価基準表に沿って、実習での取り組み、実習記録、実習前から実習後の学習状況から、学生・教員・臨地実習指導者で評価を行う。

【6】教科書

各看護の授業科目で使用した教科書を使用する。

【7】参考書

病気がみえる vol.7脳・神経、第2版 (MEDIC MEDIA)
Pocket Drugs (ポケットドラッグズ) 2023 (医学書院)
看護課程を使ったヘンダーソン看護論の実践、秋葉公子他 (NOUVELLE HIROKAWA)

【8】受講生へのメッセージ

基礎看護実習の学びを踏まえて学びを深めましょう。